

# 競技上の注意

審判長 佐々木 修

## 1. 適用ルール

本大会は、令和2年6月1日に一部改正された現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

## 2. ボール、ラバー、ラケット、試合方法について

- ◎ 使用球は、(公財)日本卓球協会公認 Nittaku プラ3スタープレミアムを使用する。
- ◎ 試合球は、コートに配置・保管されているボールを使用する。選手は、主審からボールを受領し、試合を開始する。試合球が破損等した場合は、コートに配置・保管されているボールを主審が無作為に1個を選択して試合球とする。
- ◎ 試合開始前の練習は、3本以内とする。
- ◎ ラケット本体が外国製でJTTAが公認していないものを使用する場合には、試合開始前に審判長に確認のうえ許可を受けるものとする。
- ◎ ラバーは、JTTAあるいはITTFが現在公認しているもので、公認ロゴが確認できるものであること。
- ◎ 試合中にラケットを誤って破損した場合、スペアラケットかプレー領域内で手渡されたラケットと交換して、ただちにプレーを再開すること。対応ができない場合は、失格負けが宣告される。
- ◎ 試合方法はトーナメント方式とし、全種目とも決勝戦まで5ゲームズマッチで行う。

## 3. サービスについて

- ◎ サービス開始時には、フリーハンドの手のひらを開き、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールを乗せ静止させること。
- ◎ ボールを投げ上げるにあたっては、ボールに回転を与えることなく、ボールが手のひらから離れた後、ほぼ垂直に16cm以上投げ上げられ、落下する途中を打球しなくてはならない。
- ◎ サービスを開始してから打球するまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつエンドラインより後方になくなくてはならない。またこの間、サーバーの体の一部、または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。
- ◎ ボールが手のひらから離れたらすぐに、フリーアームとフリーハンドをボールと両方のネット支柱で形成される三角形の空間領域の外に出さなくてはならない。

## 4. 競技服装について

- ◎ 競技服装(シャツ、ショーツ、スカート)は、JTTAの公認マークのついているものを着用すること。
- ◎ 同じ服装による対戦を避けるため、明らかに色の異なった2種類以上の服装を準備すること。
- ◎ 競技服装以外に、サポーター、リストバンド、ヘアバンド、スパッツなどを着用することができる。これらの着用物にメーカーロゴ等の表示がある場合には、ロゴがJTTA公認用具指定業者のものであり、全面積が12cm<sup>2</sup>以下のものが1か所であればその使用が認められる。
- ◎ アンダーシャツは競技服装から大きくはみ出すものは容認されないが、アンダーシャツが若干はみ出す程度であれば着用が認められる。ただしメーカーの商標、ロゴは、外から見えないようにすること。

## 5. タイムアウトについて

タイムアウト制は適用しない。

## 6. アドバイザー等について

アドバイザー及びベンチコーチは無しとする。

## 7. バッドマナーについて

- ◎ 競技者は、相手競技者に対し不当な影響や不快感を与えたり、ゲームの評判を落とすようなクセや態度(大声で叫び汚い言葉を使う、相手選手を威嚇する、故意にボールをつぶしたり競技領域外に打ち出す、卓球台やフェンスを乱暴に扱う等)、審判長や審判員の指示を無視する等を行った場合、バッドマナーとして判断され、相手へのポイント、選手の退場、失格などのペナルティーが科される。
- ◎ ポイントが決定した後、すぐにサービスを出さない、なかなかレシーブの構えに入らないなどの「スロープレー」も、競技のスピードアップを無視する行為としてバッドマナーの対象となる。

- ◎ 主審が選手の行為に対してバッドマナーと判定した場合、最初はイエローカードによる警告、2回目はイエロー・レッドカードを掲げて相手に1ポイントを与え、さらに違反行為が続く場合には、相手に2ポイントが与えられる。さらなる不正行為には審判長が判定を下す。

## 8. 抗議について

- ◎ 抗議は、競技者のみが行うことができる。
- ◎ 主審又は副審（副審が配置された場合）の事実判定（入った、入らない、触れた、触れていない等）に対しては抗議できない。

## 9. 幕・旗の掲示について

- ◎ 大会参加者が掲示できる横幕は、縦1m、横4mの範囲の大きさとし、卓球部名が必ず入っていることとし、企業名が卓球部名より大きいものは認められない。
- ◎ 横断幕に支柱をつけて、座席に立てる、振るなどしてはならない。
- ◎ 校旗、部旗は縦1.5m×横2m以内とし、校章、社章またはシンボルマークは中央に入れ、縦か横表示の卓球部名が入っているものとする。
- ◎ 縦長位置での旗の掲示は認められない。

## 10. 競技進行について

- ◎ 競技スケジュールについては、大会組合せ・タイムテーブルを参照するとともに、選手自身が出場する競技の「コート番号」「試合番号」をチェック・確認しておくこと。
- ◎ 選手は自身が出場するコートの試合進行状況を常に把握し、自身の試合が迫ってきた場合は出場するコート付近で待機し、前の競技が終了したら試合準備をして、直ちにコート内に入ること。スムーズな試合進行にご協力をお願いします。

### 11. 感染症防止策について

本大会は、新型コロナウイルス対策として公表されている（公財）日本卓球協会感染症対策ガイドラインに準じ開催いたします。また、参加選手及び随行者に事前配布されている本大会用に設けられた「参加者全員に対する注意事項」を遵守し、感染症対策の徹底をお願いします。

特に、

- ・試合前後の選手同士や審判員との握手はしないこと。
- ・卓球台の上で手を拭かないこと。
- ・試合以外はマスク着用のこと（試合中のマスク着用は自由ですが、着用する場合は白以外の単一色とすること）
- ・試合中はみだりに大声を発声しないこと  
等にご協力下さい。

### 12. 一般的注意事項

- ◎ ラバーの張替えは、必ず指定された「ラバー張替所」で行って下さい。
- ◎ カメラ・ビデオ撮影は、選手が自分のプレーを撮影するために持ち込んだ1台のみ許可します。
- ◎ インターネット上に、画像・動画を配信する場合がありますので、あらかじめ了承下さい。
- ◎ 競技フロア内での飲食はできませんが、水分補給については、ペットボトル等キャップのついた飲料水に限り使用可とします。
- ◎ 競技フロア内での濡れ雑巾の使用は一切禁止とします。
- ◎ 主催者は、競技中に起こったケガ・事故については応急処置を施しますが、その結果及びそこから発生する問題について、一切責任は負わないものとします。
- ◎ 競技場内での携帯電話等通信機器の使用は禁止です。
- ◎ 体育館内のコンセントから、個人の携帯電話及びビデオカメラ等への充電は行わないで下さい。
- ◎ 体育館内は全面禁煙です。
- ◎ 持ち込んだゴミ類はお持ち帰りください。
- ◎ 貴重品は各自が管理してください。万一被害にあっても一切責任は負いません。